

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.49 道路改良事業			担当課	道路交通課			予算費目名	款	項	目		
								8	2	2			
事業概要 及び目的	市道の維持補修・改良工事の実施により、道路利用者にとって安全かつ快適な環境を整備する。			成果指標	道路補修・改良延長 (3 ヲ年 H20～H22)	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度			
						予算額 (単位: 円)	174,388,904	150,500,000	108,800,000	51,410,000			
						決算額 (単位: 円)	157,759,913	150,962,941	116,231,848				
						従事職員数	3	2	2				
事業の 位置づけ	章	3	安全で安心な暮らしができるまち	成果目 標	計画値	5400m	従事延べ日数	78	52	50			
	節	3	快適な生活環境の創造				★左記施策(号)との結び付き 幹線道路、一般市道の維持補修工事により、生活環境を維持し交通の円滑化を図り、道路網整備が推進される。	民間活力の導入	現状は? : <input type="checkbox"/> 実現している <input type="checkbox"/> 将来可能性はある <input type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし				
	項	1	都市基盤の整備・充実						相手は? : <input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 企業・学校等				
	号	1	道路網整備の推進						形態は? :				

2. 進捗状況

平成 21 年 7 月 21 日記入					平成 22 年 5 月 25 日記入					平成 23 年 4 月 18 日記入						
年度	21 年度評価 (20 年度実施した事項についての評価)				22 年度評価 (21 年度実施した事項についての評価)				23 年度評価 (22 年度実施した事項についての評価)							
実施計画上の予定	工事	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	工事	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	工事	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由		
完了した事項	・道路改良工事 ・維持補修工事			道路の維持補修は、経年劣化対策であるため事業の完了はなく、永続的に実施が必要。	・道路改良工事 ・維持補修工事			道路の維持補修は、経年劣化対策であるため事業の完了はなく、永続的に実施が必要。	・道路改良工事 ・維持補修工事			道路の維持補修は、経年劣化対策であるため事業の完了はなく、永続的に実施が必要。				
継続している 事項	・道路改良工事 ・維持補修工事				・道路改良工事 ・維持補修工事				・道路改良工事 ・維持補修工事							
未着手事項	・				・				・							
改善案				成果指標				成果指標				成果指標				
				実績値	達成率	実績値			達成率	実績値			達成率	実績値		
				1784m	33%	3612m			67%	1200m			89%			

3. 今後の方向性

※課内協議を経て管理職が記入してください。					平成 21 年 7 月 22 日協議実施					平成 22 年 5 月 26 日協議実施					平成 23 年 4 月 18 日協議実施														
今後の方向性	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	休廃止	縮小	現状維持	拡充	○	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	休廃止	縮小	現状維持	拡充	○	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	休廃止	縮小	現状維持	拡充
*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか?なぜその「コストの方向性」をえらんだか?別紙「評価の視点」を参照してください。	★上記を選択した根拠 道路に関する地区要望・苦情は年々増加傾向にあり、今後は現状の予算額を維持しながら工事費のコスト縮減を図り、成果の拡充を図る。					★上記を選択した根拠 限られた財源の中で、費用節減を図りつつ要望に応えていかなければならない。					★上記を選択した根拠 財源が縮小される中、安全や利便性を確保すべく整備を継続する。																		
方向性を実現するため実施すること(改革案)	年次計画を立てるべき路線を選定し、部内および財政部局とともに事業費の配分を計画する。					単年度で実施できない路線については、優先度に応じ複数年で工事を実施する。					低減する予算の範囲内にて、整備を行うことから、より高い効果を生む路線を優先的に着手する。																		
前年度改革案の実施状況	□実施 □一部実施 ■検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 日常的な維持補修と、年次計画に基づく補修を並行して実施する方法について検討中。					□実施 ■一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 市内幹線道路を中心に継続的な維持補修工事を実施している。					□実施 ■一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 当該年度中に生じた震災により、直ちに安全な通行を確保するため、応急的な修繕の必要が生じた。																		